気候変動適応型灌漑排水施設保全等対策事業

【令和2年度予算概算決定額 60(68)百万円】

く対策のポイント>

国際水管理研究所(IWMI)およびメコン河委員会(MRC)に我が国専門家を派遣し、アジア各国の気候変動に適応したかんがい施設整備及びかんがい 手法に関する技術支援を行います。

く政策目標>

本事業の成果を活用したかんがい施設整備が実施される。(4地区以上「令和5年度まで」)

く事業の内容>

1. 干ばつモニタリング・レジリエンス対策調査 25(28)百万円

- アジアモンスーン地域では、気候変動の影響により干ばつが発生していますが、対 応するシステムが確立されていないため、農業生産に多大な影響を及ぼしています。
- 気候変動に脆弱なアジア地域において、人工衛星データを用いた干ばつ予測・監 視・警告システムの開発を行うとともに、我が国の技術を活用した効果的な水源計 画、かんがい施設整備計画、かんがい施設整備と合わせた水管理手法等を検討し、 関係国に施設整備・計画に関する提言・技術的指導を行います。

2. メコン河流域における灌漑施設に係る技術検討調査 35(40)百万円

- メコン河流域では、ダムや取水堰等のかんがい施設の設置が進められている一方、 取水量の増加及びかんがい施設への魚道未設置により、流域全般の水文、環境 及び内水面漁業に影響を及ぼすことが懸念されています。
- かんがいの越境的影響を緩和し、かんがい農業と内水面漁業の共存を図るべく、 我が国の技術を活用したかんがい施設整備及び運用手法を検討し、関係国に施 設整備・運用・管理に関する提言・技術的指導を行います。

事業実施期間:1の事業 平成30年度~令和2年度

2の事業 平成29年度~令和2年度

<事業の流れ>



1の事業:国際水管理研究所(IWMI)

2の事業: メコン河委員会 (MRC)

く事業イメージ>

1の事業

拠出先:国際水管理研究所(IWMI) 対象国:アジア地域(スリランカ等)

アジア地域の水管理改善に長年取り組ん でいるIWMIの知見・経験を活用し、シス テムを開発します。

また、IWMIを通じて我が国の知見・技術 を活用した干ばつへの適応策を普及します。



2の事業

拠出先:メコン河委員会 (MRC)

対象国:メコン河流域(ラオス、カンボジア、

タイ、ベトナム)

MRCでは、2016年から2020年の戦略計画 において灌漑の越境性影響緩和及び魚類と 共存できる灌漑システムの構築を掲げています。 MRCと協力して我が国の技術を活用し、メコン 河流域の持続的な開発に貢献します。



堰高が高く魚が遡上できない頭首工



魚類が移動可能な魚道の設置

[お問い合わせ先] (1) 大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)

(2)農村振興局設計課海外土地改良技術室(03-3595-6339)